市議会 常任委員会報告

2月17日、市議会常任委員会が開かれました。日本共産党市議団の4人は、建設水道・総務・文教経済・民生福祉の4つの委員会で、それぞれの専門分野を審査し、質疑を行いました。

これまでの議会論戦が実り、一定の前進となる方針が各分野で出されています。また、「立地適正化」など市民のくらしに大きな影響を及ぼす計画について、概要をご報告します。

立地適正化計画

ふるさとを捨てさせるのか！

市は、「福山市立地適正化計画」の今後の予定として、3月に基本方針策定、17年度に居住誘導区域や都市機能誘導区域の区域案策定、18年度から19年度にかけて地元説明会などを開催し計画の作成・公表を行うとしています。

市は「少子高齢化は避けられず、これから家を建てる世代に住みやすい地域を知らせることが目的」などと言いますが、この計画は、行政が区域を定め、市民の住居や生活に必要な施設を誘導するものです。

●区域外の切り捨てにつながる ●福山の子どもの出生率は全国的にも高く、計画の基とする社人研の推計値より実際の人口は多い　などの問題点を指摘し、「自治体として少子高齢化を克服するための観点がまったく無く、ふるさとを捨てさせる計画」と厳しく批判しました。

人口増にどう積極的な対策をとるか、自治体の姿勢一つで変わります。行政が計画ありきで進めるのではなく、住民主体のまちづくりを強く求めました。

鞆の伝建保存計画策定

歴史的な町並み保存に前進！

市教育委員会は、鞆町の「伝統的建造物群保存地区」の保存計画の策定を始め、今年6月に告示する方針を明らかにしました。

国の「重要伝統的建造物群保存地区」選定の前提となる計画で、歴史的な町並みの保存に向けた大きな一歩です。

早期の選定実現を求めるとともに、今回の伝建地区の範囲（8.6ヘクタール）に含まれない波止や船番所などの貴重な建造物も保存・活用を要望。重伝建地区の追加選定について、市は「将来的に範囲を広げることはありうる」と答えました。

中学校給食、新たに7校で実施！

中学校完全給食の試行実施が、9月から東、鷹取、精華、松永、大成館、一ツ橋の6校で、また、来年度に大門中で始まる予定です。

全校実施に向け着実に進んでいますが、より早期に、また、安全な給食が提供できるよう、引き続きがんばりります。

学校のトイレの洋式化が進みます

小学校は18校364カ所、中学校は7校99カ所のトイレが洋式に改修される予定です。

また、新たに増築される伊勢丘、緑丘小学校の放課後児童クラブにトイレが設置されます。

住宅耐震化の補助制度が拡充！

木造住宅（旧耐震基準の1981年以前に着工）の耐震診断や改修費用の補助金額が引き上げられます。

また、地震で家屋が倒壊しても、就寝場所などの安全は確保できる「耐震シェルター」の設置補助制度が新たに始まります。

子育て・教育・介護保険・食の充実求め、市に声を届ける

福山市母親大会実行委員会は毎年、市政に母親や女性の声を届けようと要望書を提出しています。

15日の対市懇談には約30人が参加。日本共産党市議団も同席しました。

市の担当課から12人が出席しましたが、枝廣市長は出席しませんでした。

参加者は、児童館や公園など子どもの居場所づくりや、中学校給食・校舎耐震化・エアコン設置などを要望。また、学校の統廃合や理不尽に子どもを縛る生活指導規程をやめてと切実な願いを訴えました。党市議団も、議会にこの声を届け頑張ります。

第62回母親大会実行委員会が市と要望懇談

日本共産党 議員団NEWS
発行 日本共産党福山市議会議員団
広島県福山市霞町3-4-25-401
電話・FAX084-922-2815

村井あけみ

高木たけし

土屋とものり

河村ひろ子